

炭谷漁網資材(株) 環境活動計画

2011年 10月 31日

1. 環境方針

我社の理念である「顧客が満足する製品を供給する」から、視野を広め環境を配慮した製品を積極的に供給すると共に、環境保全に努める為、下記の事を環境方針とする。

I. リサイクル品の販売促進

資源を無駄にせず再利用し、環境を守るために我社の主力販売商品の合成繊維ネットを再生ポリエステル繊維製等に移管すべく顧客へのリコメンド及び製造メーカーへの対応を推し進め、リサイクルの推進を促進する。

II. 天然資源の利用量削減

事務所内における電力使用量、暖房用燃料（灯油）及びコピー用紙を主とした紙使用量を削減する。

商品配送用車輛、営業用車輛の燃料削減を推進する。

III. 社員ミーティングによる環境問題に関する知識の向上

定期開催の社員ミーティングに環境問題を取り上げ、社員全員の環境保全に関する知識を共有すると共に向上する様、ミーティングの項目に環境関連事項を追加する。

2011年10月31日

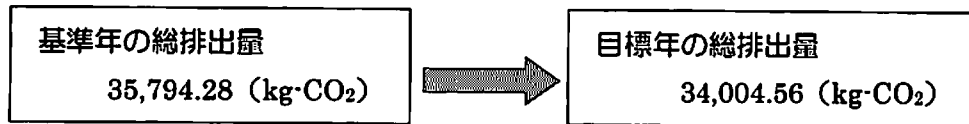
炭谷漁網資材株式会社

代表取締役 炭谷 幸雄

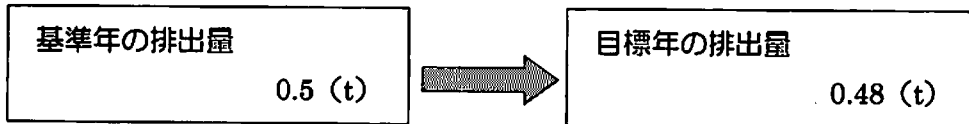
3 環境負荷の低減目標

2013 年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。（数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも 2010 年です。）

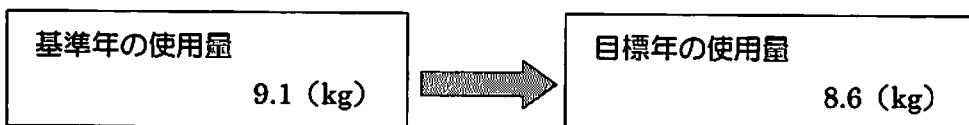
【目標 1】 二酸化炭素の総排出量を 5%削減する



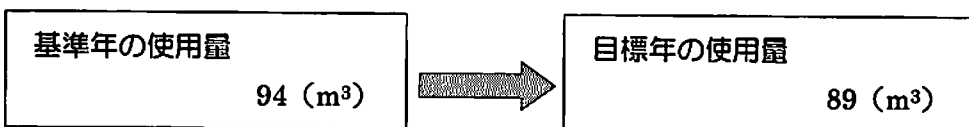
【目標 2】 産業廃棄物の排出量を 3%減する



【目標 3】 コピー用紙の使用量を 5%削減する



【目標 4】 水使用量を 5%削減する



4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組 1】 二酸化炭素排出量の削減

省エネルギーを目指した業務の改善に重点を置き取り組む。

- ・ 電力消費の大きな要因である倉庫内のフォークリフト使用量を削減する為、25 kg未満の製品は人力により実施する。倉庫内移動は台車を使用することとなり、商品の整理整頓を徹底する。
- ・ 事務室の空調温度を適正（冷房時 28 度、暖房時 20 度）に設定する
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する（事務所内照明はバランスを考え、20%の間引き照明とする）
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ 社用車の効率的な使用（運転経路、相乗り）を徹底する
商品配送用車輛が効率のよい動きができるよう、入出荷管理を検討する。
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する

【取組 2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

（産業廃棄物）

- ・ 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する
- ・ 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する
- ・ 不良品・スクラップ製品の発生状況を記録し、掲示する

（一般廃棄物）

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める

- ・ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する
- ・ 生ごみをコンポストで堆肥化し敷地内の植栽に使用する
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

【取組4】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する
- ・ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する
- ・ 洗車用のホースに手元コックを取り付ける
- ・ 水道蛇口に節水こまを設置する

5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、四半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。